



写真：モンマルトルの丘（パリ・フランス） 撮影：小川洋史

新しい関節リウマチの治療法

■ 関節リウマチとは

関節リウマチとは免疫（自分の体を外界より侵入するばい菌などから守ろうとする働き）の機能異常により自分の組織（関節リウマチにおいては特に関節）を攻撃し破壊する病気です。その根本的な原因ははまだ解明されておらずガン細胞があるからガンという診断がつく病気とは異なり、いくつかの基準となる症状を満たすことで関節リウマチと診断します。



整形外科 舟橋康治

■ 関節リウマチの診断基準

1. 1時間以上持続する手指の朝のこわばり
2. 3関節以上の腫脹、関節液貯留
3. 手指関節の腫脹
4. 対称性の関節腫脹
5. リウマトイド結節の存在
6. 手指のレントゲン上認められる骨破壊
7. リウマトイド因子陽性

以上7項目のうち4項目以上を満たすこと
(1-4は6週以上持続)

*1987年に米国リウマチ学会が定めた診断基準

1. 3関節以上の圧痛または他動運動痛
2. 2関節以上の腫脹
3. 朝のこわばり
4. リウマトイド結節
5. 赤沈20mm以上、またはCRP陽性
6. リウマトイド因子陽性

以上6項目のうち3項目以上を満たすもの

*1994年に日本リウマチ学会が定めた早期診断基準

※リウマトイド：リウマチ性の
※赤沈：赤血球沈降速度（沈降速度の上昇は炎症状態と関連）
※CRP：C反応性蛋白（炎症がある場合に上昇）

- * 特に左右手指のこわばり、左右手関節と手指の関節の痛みと腫れが6週間以上持続する場合は当院整形外科を受診して下さい。血液検査等で確認をいたします。
- * 関節リウマチ発症の男性と女性の割合は、1：4～6で女性の方が多いです。
- * 平均年齢は、50歳ぐらいの発症が多いですが、最近では高齢の方の発症もみられます。



けんこう
百花56号

新生会
情報誌

#IOSPY

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

■ 治療法

1920年頃に登場した金製剤治療に始まり、1946年にステロイド剤の合成の成功、以後種々の抗リウマチ薬が開発されてきましたが、いずれも関節リウマチにおける進行性の骨破壊は抑制されないといわれてきました。1997年、リウマトレックスが関節リウマチの治療に使用可能となり、その高い疾患抑制効果より現在関節リウマチ患者の半数近くに使用されるようになりました。2003年7月には強力な抗リウマチ作用を有する生物学的製剤が本邦において使用可能となりました。

TNF(テューマー・ネクロシス・ファクター：免疫に関わる物質)とそれに関連する細胞の活動を抑える薬で、リウマトレックスを含めた既存の抗リウマチ薬で十分な治療効果が得られない患者様が対象です。これまでの抗リウマチ薬にはなかった骨破壊抑制効果があります。

【現在日本において使用可能な生物学的製剤は下記の2剤です。】

生物学的製剤	レミケード	エンブレル
日本での使用開始日	2003年より	2005年より
投与方法	点滴注射	皮下注射
投与間隔	開始後、2週、6週、以後8週毎	週1～2回
その他	当院では原則入院にて施行 	外来通院で施行 (一定期間後は自己注射も可能) 

■ 今後の生物学的製剤

薬の作用機序と病態(原因不明の部分があること)から効き目が無かったり、投与を重ねていくうちに効果が薄れていく患者様もおられます。効果不十分な場合は薬剤の変更が必要となります。現在はその選択が上記の2剤しかありませんが、今後も多数の生物学的製剤が登場し、より多くの関節リウマチ患者様の疾患活動性がコントロールされていくことが期待されます。なお、合併症の存在などにより使用できない場合、副作用が強くなる場合、特殊な製造方法により非常に高価な薬剤なので、自己負担が高くなる場合もあります。(公的制度による助成・免除などを受けられる場合もあります)詳細は病院にてご相談下さい。

■ さいごに

近年、関節リウマチの治療は著しい進化を遂げています。新しい薬の登場で正常に近い状態まで症状を押さえ込むことが可能な時代となりました。ただ残念ながら現在あるリウマチの薬は病気が治るものではありません。薬を止めてしまえば症状は元に戻ってしまいます(寛解といって無症状の状態が維持されることもあります)。また副作用に対する過剰な心配により有効な治療が選択しがたい状況が見受けられます。薬に対する正しい理解と使用により良好な疾患のコントロールをめざしましょう。当院では生物学的製剤をはじめとした関節リウマチにおける最新の治療法を常に取り入れておりますのでぜひお越しください。

新生会外来からのお知らせ

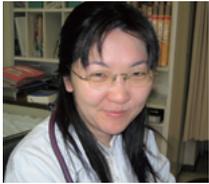
新生会第一病院の外来が新しく生まれ変わったことをご存知ですか？

ここ数年、地域の病院が増えていく中で新生会第一病院の役割として、腎臓病・糖尿病・整形外科・透析療法に必要な質の高い専門的医療を提供していけるように、体制を整えました。中身の濃い、心のこもった医療・看護をめざしこれからも職員一同がんばっていきたくて思っていますので、どうぞ外来をご利用ください。今回は新しい先生と腎臓病教室を紹介します。

新しい先生方のご紹介

① 名前 ② 年齢 ③ 出身地 ④ 趣味 ⑤ 所属 ⑥ 一言

火曜 総合内科（隔週）担当



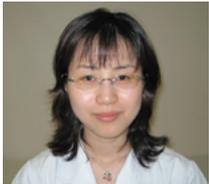
①加藤諭美
②内緒 ③知多市 ④バイオリン
⑤名古屋記念病院 総合内科
⑥初日から桜並木に感動し写真をとりながら通勤しました。いいスポットがあれば教えてください。よろしくお願いします。

火曜 総合内科（隔週）担当



①園 真廉
②29歳 ③京都 ④音楽
⑤名古屋記念病院 総合内科
⑥はじめまして。外見上、最初は少し驚かれるかもしれませんが、すぐに慣れていただけたらと思います。よろしくお願いします。

金曜 内分泌糖尿病内科担当



①平野美穂
②29歳 ③名古屋市 ④旅行
⑤名古屋大学医学部付属病院
糖尿病内分泌内科
⑥糖尿病・内分泌疾患管理のお役に立てよう尽力致します。ご不明な事がありましたら気軽に声をかけて下さい。

土曜 整形外科リウマチ科担当



①松原浩之
②33歳 ③各務原市
④ツーリング、ジョギング
⑤名古屋大学医学部付属病院 整形外科
⑥リウマチ・関節疾患中心に診療・アドバイスさせていただきます。よろしくお願いします。

腎臓病教室のご案内

第1回目は7月20日(金)

時間 13:30~15:00

腎機能を保つために 院長 小川 洋史
食事療法のコツ 管理栄養士 平賀 恵子
腎臓病と薬 薬剤師 平野 利枝

腎臓の病気とその治療について、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーが専門の立場から、わかりやすく説明します。あなたのこれからの生活に役立つ話が盛りたくさんあります。

興味のある方は外来までお問い合わせください！
くわしい内容をご説明します。

腎臓病教室は7月・9月・11月・2008年2月に開催します。

第7回 新生会オープンセミナーのお知らせ

変形性関節症について（下肢を中心に） 関節の痛みを予防するリハビリ体操

医師 舟橋 康治
理学療法士 田澤 正貴



身体を支えている骨と骨のつなぎ目である関節が変形して痛むようになると、正座が出来なくなったり、階段の上り下りがつらくなったりと、日常生活の様々な場面で支障が出てきます。関節痛への正しい対処法を一緒に学びましょう！

日 時：2007年9月1日(土)
午後1時30分～3時30分

場 所：新生会第一病院 集会室

お問合せ先：健康ネットワークいきいき（清水）TEL(052)832-8411(代表)



リウマチ外来のご案内

院長 小川 洋史

リウマチの治療に生物学的製剤（レミケード、エンブレル）が使用されるようになり大きな変貌をとげたことは最近の医療のトピックスといえます。病気の治療法が一気に進歩することが、時としてあります。今までの例としては、結核に対するストマイ（ストレプトマイシン）、腎不全に対する透析療法などがあげられます。リウマチの治療にとっては生物学的製剤は画期的な治療薬といえます。生物学的製剤には長所、短所、共にあり、そのことを熟知しているリウマチ科医師が対応する必要があります。

是非一度、実績を十分に積んだ当院のリウマチ外来へご相談ください。

リウマチ外来の体制

月・金曜日



舟橋 康治 先生
《受付時間》
8:30～11:30

火曜日



小嶋 俊久 先生
《受付時間》
8:30～11:30

火曜日



石黒 直樹 先生
《受付時間》
13:00～16:00

土曜日



松原 浩之 先生
《受付時間》
8:30～11:30

外来診療科一覧

平成 19 年 4 月 1 日～（予定が変更する場合がございますので、ご了承ください）

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
腎・一般内科	午 前	○	○※1		○	○	○
整形外科・リウマチ科	午 前	○	○※2			○	○
シャント外科	午 前	○	○	○	○	○	
内分泌（甲状腺）糖尿病※3	午 後	○			○	○	

※1 総合内科

※2 整形外科・リウマチ科の午後の診察あり

※3 内分泌（甲状腺）糖尿病に受診した後に、糖尿病栄養外来を行っています

* その他、副甲状腺外来、家庭透析、CAPDの診察も行っております

** 当院外来では、予約制を実施しております。（初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合は、予約がなくても受け付けますので来院ください）

*** 緊急の場合はいつでも電話をして来院下さい。

健康ネットワーク“いきいき”

住所 〒467-8633 名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2

新生会第一病院

電話 (052) 832-8411 FAX (052) 832-8417

<http://www.shinseikai.org>

～交通機関のご案内～

- 地下鉄名城線 瑞穂運動場東下車 一番出口から徒歩10分
- 地下鉄名城線・桜通線 新瑞橋下車 市バスで弥富通4丁目下車

新瑞橋 < 幹新瑞1 < 島田住宅行き
平針住宅行き
神宮11 < 島田一ツ山行き
相生山住宅行き

新瑞橋からタクシーで10分

名鉄本線 神宮前下車 市バスで弥富通4丁目下車 神宮11 < 島田一ツ山行き
相生山住宅行き

